



移住者名	Aさん
都道府県	長崎県
移住先	大阪府⇒江島
移住年	2年
職業	日本語教師⇒民泊経営
家族構成	単身
移住形態	1ターン

## Q. 移住したきっかけは？

移住のきっかけは両親の死でした。江島は父の故郷であり、定年後Uターンしていた両親ですが、相次いで他界してしまいました。人が住まなくなった家はだんだん古びてゆき、かび臭くなって庭は雑草で覆われこのままではお化け屋敷になりそうでした。そしてそれは私の家だけでなく島自体がどんどん寂れ人は減っていき、幼い頃あいさつを交わしていた近所のおじさんやおばさんたちもいなくなりました。島の人から出る言葉は「江島はもうダメだよ、もうすぐ無人島になるよ」と。

みんな島の未来を諦めてしまっていました…幼い頃訪れていた江島は、私の夢の島でした。もし本当に無人島になったら、両親の墓参りにも、大好きな江島にも来れなくなるじゃないか、無人島になるかもしれないなんて、それは絶対嫌でした。子育ても一段落し、残りの人生は江島に住み、家や墓を守り島の為に何かしよう！と決心しました。

## Q. 移住の際不安に思ったことは？

田舎暮らしには不安はありませんでした。喧噪な都会から離れ、静かな自然の中で、毎日鳥の声と波の音で目を覚ますのは、ずっと夢でしたから。しかし、島では働く場所がありません。まだ年金をもらう年ではありませんので、働いて収入を得なければ食べていけません。仕事は自分で作らなければなりませんでした。

## Q. 移住して良かったことは？

島には働く場所がなかったので、自身で起業することにしました。現在民泊業を柱に、ひつじ牧場とブルーベリー農園を経営しています。最初は反対していた親戚たちも、私のことを遠くから見ていた島の人達も、今では羊たちは元気？赤ちゃんは大きくなったろ？草を切ったからエサにして、野菜はある？と、少しずつ認めて応援してくれるようになりました。都会にいれば普通に定年を迎え、普通のおばあちゃんになっていたと思います。でも、島に移住して、起業して、いろんな人々に支えられ、第2の人生をアクティブに生きがいをもって日々を送れることは本当に幸せです。



## Q. 移住を考えている方へメッセージ

---

私は江島に惹かれ、どうしてもここで暮らしたいと思い、そして諦めませんでした。そして今、毎日発見と冒険のドラマチックな日々を送っています。成功とか失敗とかそんなことは、私にとって重要ではなく、ただ島をよくしていきたい。美しい島を守っていきたい。島の人達の役に立ちたい。重要なのはそうやって生きていくことだと思っています。

何かのページで見つけた言葉があります。

命は有限であるということ。だったら、自分がより幸せに感じることに時間をかけていく。誰かが何とかしてくれるわけではないなら、自分なりの最大限の知恵と、計画性と、勇気と、好奇心で、自分の人生を前に進めていくことを私は選んでいきます。